

日 本 史

(解答番号 ~)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

日本列島における経済的な取引の歴史は古く、縄文時代の社会^(a)では、すでに物と物を取り引きする交易が広くなされていた。例えば遺跡から出土する硬玉（ヒスイ）の分布状況は、それを示すよい例である。硬玉の産出地域が限られているにもかかわらず、竪穴住居の跡が数多く残る青森県の遺跡でも硬玉が発見されており、狭い集落を越えて取引が行なわれていた実態がわかる。弥生時代^(c)になると、取引の規模は日本列島を越えて朝鮮半島や中国大陸にも及んだ。

今日、取引のために欠かせないものが、貨幣^(d)である。それが日本で製造されるようになったのは、の治世でつくられた富本銭が最初とされている。このことは、市が置かれていた平城京で貨幣が出土していることから明らかである。当時の政府が貨幣を流通させるためにを施行した記録も残されている。

平安時代には、遣唐使が廃止されるなど、正式な外交関係には大きな変化が見られた。だが、海外との取引は依然活発に続けられ、貨幣も用いられた。他方で日本列島に限ると、税の徴収や納入では米や織物、特産品などの現物が広くやりとりされていた。

室町時代になると取引はさらに活発化し、都市と地方との結びつきが強まった。特に、地方では市場の開催回数が増加し、応仁の乱後に一般化したは、特産品の売買や銭納に必要な貨幣を獲得する場として機能していた。ここでは、貨幣を利用した取引が多く行なわれており、荘官や農民はさまざまな農産物を取引していた。貨幣の使用の一定の広まりは商業活動を活発化させ、商工業者の同業組合としての役割を果たすも現れた。これにより、商品流通の効率化がはかられた。市の発展と貨幣の浸透は、都市の繁栄を支え、室町時代の経済活動の基盤を築くことにつながった。

このように、日本国内の取引は、物と物との交換から貨幣を用いた取引へと移行し、商業活動が飛躍的に活性化してきた歴史といえる。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な天皇名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 天武天皇 ② 聖武天皇 ③ 孝謙天皇 ④ 桓武天皇

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な法令名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 大宝律令 ② 蓄銭叙位令 ③ 撰銭令 ④ 新貨条例

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 楽市 ② 花の御所 ③ 三斎市 ④ 六斎市

問4 文中の空所Dに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 座 ② 問丸 ③ 土倉 ④ 馬借

問5 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 甕棺や壺棺などが使用され、伸展葬が普及した。
② 土器が発明され、煮炊きや保存に利用されるようになった。
③ 春の新嘗の祭りや秋の祈年の祭りが行なわれていた。
④ 集落において、収穫物は高床倉庫で管理されていた。

問6 下線部(b)を表す遺跡名として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 吉野ヶ里遺跡 ② 三内丸山遺跡
③ 尖石遺跡 ④ 岩宿遺跡

3 (日本史)

問7 下線部(c)の人々の生活についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

7

- ① 男性は袴、女性は裳という衣服を着用することが多く、当時つくられた埴輪などにも表現されている。
- ② 縄文時代にはみられなかった居住域を溝で囲んだ高地性集落が出現し、各地に政治的なまとまりができていた。
- ③ 支配者層や有力者が多量の副葬品とともに埋葬された埴丘墓が造営されるなど、人々のあいだに身分の差が生じていた。
- ④ 中広形銅矛や平形銅剣などの青銅器がつくられ、人々の間で狩猟などに広く用いられていた。

問8 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

8

- ① 洪武通宝は、日本で铸造された貨幣であり、鎌倉時代に広く流通した。
- ② 開元通宝は、村上天皇の命により铸造され、貴族たちのあいだで使用された。
- ③ 寛永通宝は、唐の時代に中国で使用され、日本にも輸入されて流通した。
- ④ 永楽通宝は、室町時代に中国から輸入され、日本でも広く流通した。

問9 下線部(e)が都として機能していた時期における、この都についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

9

- ① 条坊制をもつ都であり、左京・右京それぞれに市司が監督する市があった。
- ② 唐への留学から帰国した藤原葉子が建立に尽力した東大寺があった。
- ③ 唐や新羅との貿易の中心地であり、外国使節を接待する摂津職が置かれた。
- ④ 全国から集まった僧侶たちが学問を修めるために、大学が設置されていた。

(日本史) 4

問10 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

10

- ① 遣唐使は、唐の衰退を理由として7世紀末に藤原房前によって廃止された。
- ② 新羅との関係悪化で、遣唐使の航路は朝鮮半島沿いの北路から南路に変わった。
- ③ 天武天皇は、渡来人の出自を有する大上御田鎌を初の遣唐使として派遣した。
- ④ 遣唐使として唐で学んだ成尋や裔然は、帰国後に政界で登用されて活躍した。

問11 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

11

- ① 平安時代には、名主が名田の管理をしながら年貢や公事を領主におさめていた。
- ② 8世紀の制度では、都での雑徭に代えて、庸として布をおさめることもできた。
- ③ 農民の家族が一族全体で耕作して年貢や公事を納入する制度を、惣領制とよぶ。
- ④ 鎌倉時代には、地頭が実施する検地によって農民の年貢量が決定されていた。

問12 下線部(h)に関連して、室町時代の農業についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

12

- ① 畿内では二毛作に加えて、三毛作も行なわれていた。
- ② 備中鋤が開発され、農作業の効率化に大きく貢献した。
- ③ 墾田永年私財法が制定され、新たな土地の開墾が奨励された。
- ④ 都市の商工業者が開発を進める町人請負新田が増加した。

問13 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

13

- ① 室町時代の行商人として、連雀商人や旗本などが存在した。
- ② 大山崎の油神人は、北野天満宮を本所とする菜種油の座を設けた。
- ③ 幕府などが関所を各所に設け、関銭・津料を徴収していた。
- ④ 室町時代において、女性が金融業を行なうことは禁じられていた。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。なお、設問における史料には、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

応仁の乱のち、室町幕府の権力は大きく低下し、地方の分権化が進んだ。これに伴い、貿易の実権も室町幕府から有力大名に移行した。また、日本列島の南西に位置する琉球や、北東に位置する蝦夷地では、大陸との交易も盛んであった。15世紀から17世紀にかけての日本列島の周辺地域の様相や、日本の対外関係を概観したのち、それらの19世紀に及ぶ動向をたどってみよう。

琉球では、12世紀以降、Aとよばれる地方豪族がグスク(城)を拠点として勢力を広げていた。その後、これらのグスクは統合され、三山が競い合う時代に入った。やがて、15世紀には、三山は統一されて、琉球王国が誕生した。他方、蝦夷地では、先住民族であるアイヌが固有の歴史や文化に基づく生活を営んでいた。

さて、世界に目を広げると、15世紀以降、ヨーロッパはいわゆる大航海時代を迎えていた。ヨーロッパ人の来航は日本列島にも及び、宣教師の布教により、キリスト教も急速に広まった。これに脅威を感じた豊臣秀吉は、キリスト教の弾圧に転じた。

17世紀、江戸時代の当初は、キリスト教は黙認され、日本人も活発に海外に渡航していた。しかしながら、江戸幕府は次第にキリスト教に対する禁教政策を強化し、日本人による海外への渡航や貿易についても制限を加えるようになった。

同じ頃、琉球王国は薩摩藩の侵攻により、その支配下に入ったが、中国との朝貢貿易は継続した。他方、蝦夷地では、アイヌの集団が、搾取を強めるB藩と対立して戦ったものの、ついに敗れた。こうして江戸幕府は、琉球と蝦夷地の一部を間接的な支配下に置き、17世紀のなかばには、貿易と社会秩序を統制する対外政策を完成させた。長崎からCが毎年江戸に参府して将軍に謁見する行事も、このような政策の一環と見ることができる。対外関係を利用したイベントは、幕府の権威を高めるとともに、日本を中心とする世界観を民衆に植えつける役割を担った。

対外関係の拠点をいわゆる「四つの窓口」に限定する枠組みは、支配の安定をもたらした。しかしながら18世紀末になると、この枠組みが揺らぎ始める。まず、ロシアが南下して日本列島に接近すると、ロシアに対する備えの意見書が提出され、老中の田沼意次がDらを蝦夷地に派遣するなどの対応がなされた。その後も外国船の来航が相次ぎ、日本列島各地の海岸でさまざまな事件が起こった。

日本近海に出没する外国船は、日本列島に住む人々の意識にも大きな影響を与えた。時代の変化を察知した思想家たちは幕府の対外政策に警鐘を鳴らすようになったが、幕府は彼らを厳しく処罰した。だが従来の枠組みが通用しなくなりつつあることは明らかであり、幕末には大きな変革を迫られることとなった。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 14

- ① 負名 ② 按司 ③ 本家 ④ 郡司

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な地名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 15

- ① 秋田 ② 会津 ③ 松前 ④ 仙台

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- ① 謝恩使 ② 朝鮮通信使 ③ 慶賀使 ④ オランダ商館長

問4 文中の空所Dに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- ① 最上徳内 ② 間宮林蔵 ③ 伊能忠敬 ④ 工藤平助

問5 下線部(a)に関連して、室町幕府に代わって日明貿易の実権を握った大名についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

- ① 応仁の乱のあと、博多商人と結んだ大友氏が日明貿易の主導権を握った。
② 五島列島や平戸を拠点とした大村氏が倭寇を抑え、日明貿易を担った。
③ 三浦の乱に勝利した対馬の宗氏が、その後の日明貿易の主導権を握った。
④ 大内氏と細川氏が主導権争いを繰り広げ、大内氏が日明貿易の実権を握った。

7 (日本史)

問6 下線部(b)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

X 山南王の尚巴志が分立していた三山を統一して、都を那覇に置いた。
 Y 三山統一後の琉球王国の中継貿易を担ったのは、主に明の海商たちであった。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
 ③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問7 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① アイヌは、モンゴルの侵攻を受け、交戦した歴史をもっていた。
 ② アイヌは、十三湊に本拠地を置いて、日本と盛んに交易をしていた。
 ③ アイヌは、仏教を信仰し、主に農耕で暮らしを立てていた。
 ④ アイヌの居住地域の北限は、蝦夷地の西南部であった。

(日本史) 8

問8 下線部(d)に関連して、次の史料に関して述べた下の文a～dについて、最も適切なものの組合せを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

21

史料

定

- 一 日本ハ神国たる処、きりしたん国より邪法を授け候儀、^{はなはだ}太以て然るべからず候事。
 一 其国郡の者を近付け門徒になし、神社仏閣を打破るの由、前代未聞に候。
 一 伴天連、其知恵の法を以て、心ざし次第に檀那を持ち候と思召され候へハ、右の如く日域の仏法を相破る事^{くはごと}曲事に候条、伴天連の儀、日本の地ニハおかせられ^{まじく}間敷候間、今日より廿日の間ニ用意仕り帰国すべく候。
 一 黒船の儀ハ商売の事に候間、各別に候の条、年月を経、諸事売買いたすべき事。
 天正十五年六月十九日

(松浦文書)

- a この史料の伴天連とは、ポルトガル語のバードレに由来する言葉であり、一般のキリスト教徒を指していた。
 b この史料の黒船とは、浦賀沖に来航した4隻の蒸気船のことを指していた。
 c この史料から、ヨーロッパとの貿易は禁じられてはいなかったことがわかる。
 d この史料が出されたのは、豊臣秀吉が九州を平定した年のことであった。

- ① a・b ② a・c ③ b・d ④ c・d

問9 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 22

- ① 薩摩藩は、琉球に黒砂糖を高値で売りつけることで、巨額の利益を得た。
 ② 対馬に倭館が設置されて、そこで対朝鮮貿易の取り決めがなされた。
 ③ 長崎の出島に置かれたオランダ商館は、東インド会社の支店であった。
 ④ 中国船は博多に入港し、中国商人は博多の唐人屋敷に居住させられていた。

問10 下線部(f)に関連して、次のa～dに関する以下の各問に答えなさい。

- a イギリス軍艦フェートン号がこの地に侵入し、薪水・食料を要求した。
- b ロシア使節レザノフが通商を求めて、この地に來航したが、幕府は追い返した。
- c ロシア軍艦の艦長ゴローニンがこの地に上陸し、日本の警備兵に捕らえられた。
- d アメリカのビッドルがこの地に來航し、日本に開国を求めた。

(1) a～dの出来事と、下の地図に示された場所イ～ニの組合せとして誤っているものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23



- ① c — イ ② b — ロ
- ③ d — ハ ④ a — ニ

(2) a～dを年代の古いものから順に正しく配列したのものとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24

- ① a → c → b → d ② b → a → c → d
- ③ c → d → b → a ④ d → b → c → a

問11 下線部(g)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 25

- ① 渡辺崋山は『経世秘策』を記し、西洋諸国との交易や蝦夷地開発による富国策を説いたことにより、国元での永蟄居に処せられた。
- ② 佐藤信淵は『暦象新書』を著し、幕府が独自の暦法を使用していることを批判し、西洋に倣うことを求めたことで、死罪に処せられた。
- ③ 高野長英は『戊戌夢物語』を執筆し、幕府の強硬な対外政策を批判したことで、永牢に処せられて、のちに自刃した。
- ④ 平田篤胤は『稽古談』を記して復古神道を説き、強硬な対外政策を求めたことで、幕府の処罰を受けた。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

女性記者の草分け、婦人雑誌の主宰者、自由学園を設立した教育者として著名な羽仁もと子は、今日で言う「女性の活躍」の先駆者であろう。しかし、明治、大正、昭和を生きたもと子の思想と活動からは、「活躍」をめぐる実態の複雑さもまた浮かび上がる。

羽仁もと子は、1873年に今の青森県八戸市に生まれた。旧藩士の祖父が「朝野新聞」を愛読する知識人であった一方、祖母や母は識字者ではなかった。小学校で優秀な成績を取めたもと子は高等科まで進み、上京して東京府高等女学校に入学した。大日本帝国憲法が公布されたその年、東京では、森有礼文部大臣や大隈重信外務大臣が襲撃されるなど、政府要人を標的とした事件が相次いだ。変貌を続ける大都市・東京に刺激される日々のなか、もと子はキリスト教の洗礼を受けている。卒業後に進学した明治女学校では、同校校長の主宰する『女学雑誌』の校正・編集を請け負い、学費を工面した。その場で、明六社の一人として知られた碩学の **A** にも接し、薫陶を受けたという。

帰郷して教職に就いたもと子だが、再び上京して書く仕事を望むなか、報知新聞社に採用される。校正者から記者に転じ、手掛けた取材記事は評判をよんだ。転機となったのは、**B** の著者で同社の元社主・矢野龍溪の書生だった羽仁吉一の入社である。吉一と社内恋愛のすえ結婚したもと子は同社を去り、夫婦で独立の道を探った。

1903年に羽仁夫婦は雑誌『家庭之友』を創刊する。新たな法律の施行や教育の拡充を受け、新しい家庭像や生き方を求める女性が増えるなか、特に中産階級の女性に向けた雑誌事業は、もと子の生活実感とも連動していた。「家庭生活の合理化」を掲げ、増税と物価高が深刻となった日露戦争下では家計簿を考案し、大きな反響を得た。1908年に創刊した『婦人之友』は「家庭からよい社会をつくる」を理念とし、政教社を率いた国粹主義者の **C** から社会主義者の安部磯雄まで著名な言論人も頻繁に寄稿した。

大正デモクラシーの風潮のもとで教育への関心を高めた羽仁夫婦は、1921年に自由学園を創立した。キリスト教精神に基づき、自由主義教育を実践するユニークな学園は海外からも注目され、もと子は教育者としての名声も得ていく。

読者を広げた『婦人之友』は、のちに「友の会」となる「読者組合」を立ち上げ、地域ごとに互助会が組織された。関東大震災に際し、もと子は「組合」と学園を総動員し、救援活動を進めた。この経験をもとに、満州事変から敗戦までの間、東北で生活改善運動を進め、北京生活学校を開くなど、時局に応じた事業を展開した。戦争に協力もしたもと子だが、婦人運動家の市川房枝らとは異なり、公職追放は免れた。博多や佐世保での引揚者援護への尽力も、もと子のなかでは戦前、戦中の奉仕活動と矛盾なく一貫している。独立回復後の社会を見つめながら、1957年に83歳で永眠した。

現在では、『婦人之友』や自由学園が、自らの戦争体験の検証を始めている。羽仁もと子の足跡から「女性の活躍」を多面的に考察することは、現代にこそ有意義であろう。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **26**

- ① 加藤弘之 ② 新島襄 ③ 前島密 ④ 島地黙雷

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な作品名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **27**

- ① 『佳人之奇遇』 ② 『安愚楽鍋』
③ 『経国美談』 ④ 『我楽多文庫』

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **28**

- ① 津田真道 ② 徳富蘇峰 ③ 星亨 ④ 三宅雪嶺

問4 下線部(a)に関連して、明治期の学校教育についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **29**

- ① 帝国議会の開設に伴って教育令が公布され、それまで町村が管理・設置していた小学校は、政府の管理に移管された。
② 日清戦争後に公布された教育勅語によって、忠君愛国が学校教育の基本であることが強調された。
③ 小学校令の改正が重ねられた結果、日露戦争後には、尋常小学校における義務教育期間が6年に延長された。
④ 西園寺公望内閣において、小学校の教科書を文部省の著作に限ることが定められ、教育に対する国家の統制が強まった。

問5 下線部(b)に関連して、内閣総理大臣の在職中に殺害された人物名として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **30**

- ① 伊藤博文 ② 高橋是清 ③ 斎藤実 ④ 原敬

問6 下線部(c)に関連して、明治期のキリスト教についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

- ① 明治維新直後の新政府は旧幕府の禁教の方針を継続したため、長崎の浦上や五島列島のキリシタンが迫害を受けた。
- ② 熊本洋学校のモッセなど、明治初期に来日した外国人教師の強い影響で、青年知識人のあいだにキリスト教信仰が広がった。
- ③ キリスト教の精神に基づき、近代啓蒙家としても活躍した海老名弾正は友愛会を組織し、労働者階級の地位向上と労働組合の育成をめざした。
- ④ キリスト教婦人団体の赤瀬会が発足し、人道主義の立場から教育・福祉活動や廃娼運動を進めた。

問7 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 32

- ① 重化学工業の勃興で、職業婦人とよばれる女性の工場労働者が増大し、男性労働者の数を凌ぐようになっていった。
- ② 第2次松方正義内閣が制定した治安警察法により、女性の政治結社や政治集会への参加は禁止されていた。
- ③ 民法典論争を経て改めて編纂された新民法では、家父長制的な家の制度が規定され、家族の婚姻や居住にも戸主の承認を必要とした。
- ④ 市民的自由が制約される状況のなかで、感情や個性の躍動を重んじる新感覚派が盛んになり、太宰治の小説が高等教育を受けた女性の間で流行した。

問8 下線部(e)の前後に文壇で主流となり、人間の本能や現実をありのままに描こうとする文芸思潮の名称と作家名の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 33

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 自然主義 — 田山花袋 | ② 啓蒙主義 — 夏目漱石 |
| ③ 写実主義 — 尾崎紅葉 | ④ ロマン主義 — 坪内逍遙 |

問9 下線部(f)に関連して、大正期の学問や芸術についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 34

- ① 明治期より小学校教育に導入されていた童謡に対して、民間では、西洋の歌謡を模倣した唱歌が盛んに歌われ、山田耕筰が多くの曲を創作した。
- ② 文展のアカデミズムに対抗する洋画の在野勢力として、二科会や春陽会が創立され、安井曾太郎や岸田劉生が活躍した。
- ③ 和辻哲郎は、民間伝承の調査・研究を通じて無名の民衆の生活史を明らかにする、民俗学を確立した。
- ④ 西洋出身のライトが設計し、彼の代表作となった東京駅は、首都の名建築として多くの観光客を集めた。

問10 下線部(g)に関連して、震災後の社会についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 35

- ① 震災で打撃を受けた大手呉服店は、アメリカを参考に、ショーウィンドーや陳列台を用いて従来より幅広い顧客を対象とするデパート型の小売を開始した。
- ② ラジオ放送が開始され、各放送局を統合して設立された日本放送協会 (NHK) は、放送網を全国に拡大していった。
- ③ 憲兵により、大杉栄や伊藤野枝らが殺害される事件が起こり、その責任をとって山本権兵衛内閣が総辞職した。
- ④ 震災で東京市や横浜市の歴史的建造物の多くが焼損したことをきっかけに、伝統的価値のある文化財を保護するために文化財保護法が制定された。

15 (日 本 史)

問11 下線部(h)に関連する次の出来事ア～エを年代の古いものから順に正しく配列した
ものとして最も適切なものを、後の①～⑧の中から一つ選び、マークして答えなさい。
36

- ア 食糧対策として政府が生産者から米を強制的に買い上げる、供出制が始まった。
- イ 理科系・教員養成学校を除く徴兵適齢の学生が、軍に徴集されるようになった。
- ウ 近衛文磨首相が、日・満・華3国の提携によるアジアの新秩序建設を提唱する
声明を出した。
- エ 政府は農山漁村経済更生運動を始め、農民の結束と「自力更生」をはからせた。

- ① ア → イ → ウ → エ
- ② ア → ウ → エ → イ
- ③ イ → ウ → ア → エ
- ④ イ → ア → エ → ウ
- ⑤ ウ → エ → イ → ア
- ⑥ ウ → ア → イ → エ
- ⑦ エ → ウ → ア → イ
- ⑧ エ → ア → ウ → イ

問12 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、
マークして答えなさい。 37

- ① 戦後初の総選挙で当選し、第一党となった日本社会党の議員として活動した。
- ② 平塚らいてうと新婦人協会を設立し、女性の地位を高める運動を展開した。
- ③ 明治期に米国留学を果たし、高等教育機関である女子英学塾を創立した。
- ④ 文学者団体の青鞞社を結成し、女性雑誌『アララギ』を創刊した。

問13 下線部(j)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適
切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

38

- X 朝鮮特需による経済成長で、55年体制成立のころには中・高等教育の大衆化が
進み、国民の大多数が自分を中流階級だと考える「中流意識」が定着した。
- Y 「教育二法」の公布により、公立学校教員の政治活動と政治教育の自由が保障
され、教育委員の選出も地方自治体の首長の任命制から公選制に切り替えられた。

- ① X — 正 Y — 正
- ② X — 正 Y — 誤
- ③ X — 誤 Y — 正
- ④ X — 誤 Y — 誤